

いわぎん起業・創業サポートローン「Start Up!」保証要領

第1 目的

本制度は、株式会社岩手銀行（以下、「岩銀」という。）との提携により、岩手県内で新たに事業を開始しようとする者（創業して5年未満の者を含む）の資金需要にスピーディーに対応し、円滑な資金供給を図ることを目的とする。

第2 申込人の資格要件

次の（１）から（３）のいずれかに該当し、かつ（４）に該当する者とする。ただし、個人・法人とも県内に営業実態を有し、かつ個人は県内に現住所を有することを要件とする。

- （１）事業を営んでいない個人が、１カ月以内に県内で新たに事業を開始する具体的計画を有していること。
- （２）事業を営んでいない個人が、２カ月以内に県内で新たに法人を設立し、当該法人が事業を開始する具体的計画を有していること。
- （３）事業を営んでいない個人が、県内で新たに創業又は法人を設立し、事業開始日又は設立日から５年未満であること。
- （４）次に掲げるいずれかの外部専門機関の作成支援を受けた事業計画書を有すること。
 - ① 商工会議所・商工会
 - ② いわて産業振興センター
 - ③ 岩手県中小企業診断士協会
 - ④ 岩手県よろず支援拠点

第3 資金使途

新たに事業を開始するために必要な運転資金又は設備資金とする。ただし、不動産購入資金については対象外とする。

第4 保証限度額

10,000 千円以内とする。

第5 保証期間

10 年以内とする。ただし、１年以内の据置きを認める。

第6 貸付形式

証書貸付とする。

第7 貸付利率

年 1.95%（固定）とする。

第8 信用保証料率

年 0.60%とする。ただし、会計参与を設置している旨の登記を行っていることを確認できる中小企業者の場合は、年 0.10%を減じた率とする。

第9 返済方法

元金均等返済又は元利均等返済とする。

第10 連帯保証人

原則として、法人における代表者を除き不要とする。

第 11 担保

不要とする。

第 12 申込手続き

岩銀は、信用保証依頼書の保証制度欄に「Start Up!」と表記し、所定の「創業計画書」を添付の上、当協会の本・支所に申込みものとする。

第 13 フォローアップ

岩銀は、貸出後 3 年間、次のサイクルで事業の進捗状況等を確認して「業況確認書」を作成し、当協会に提出するものとする。ただし、貸出期間が 1 年以内の先は対象外とする。

フォローアップ期間	貸出後 1 年目	貸出後 2 ～ 3 年目
提出期限	初 回：貸出後 6 ヶ月後応答月中 2 回目：貸出後 1 年後応答月中	決算後、4 ヶ月以内

第 14 その他

- 1 本制度は、創業関連特例を適用する。
- 2 この要領に定めのない事項は、岩銀との間で締結している約定書の定めによるものとする。

附 則

この要領は、平成 27 年 3 月 1 日から施行する。

附 則

この要領は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要領は、令和 8 年 4 月 1 日から施行する。

創業計画書

年 月 日

岩手県信用保証協会 御中

〔申込人〕
住 所
会社名
氏名または
代表者名
印

1. 事業概要

開 業 形 態	個人事業 ・ 会社事業		商 号（個人） 会 社 名（会社）		
開業（予定）住所	電話（ ）				
開業届出（個人） 設立登記（法人）	有 ・ 無		開業（予定）年月日 設立（予定）年月日	平成 年 月 日	
業 種			資 本 金	〔会社設立（予定）の場合〕 円	
従 業 員 数	名	取扱品	仕入先		
開業動機・目的					
開業に必要な知識、技術、ノウハウの習得					
〔会社設立予定の場合〕 出 資 者 ・ 出 資 額					
事業協力者の住所・氏名・勤務先					

2. 創業準備の着手状況〔下記の該当事項に○印を付けて下さい〕

- ア 設備機械器具等発注済である。
イ 土地・店舗を取得するための頭金等支払済みである。
ウ 土地・店舗を賃借するための権利金・敷金支払済みである。
エ 商品・原材料の仕入を行っている。
オ 事業に必要な許認可を受けている。
カ 事業に必要な許認可等の申請が受理されている。
キ その他（具体的にご記入ください： ）

3. 運転資金計画

名 称	金 額	積 算 内 訳
商品・材料等の仕入資金	千円	
人 件 費 等		
そ の 他 資 金		

計	A	
---	---	--

4. 設備計画

区分	土地・建物	面積	取得方法	自己・新築 取得・賃貸	取得に要する 資金	契約年月日	取得(完成) 年月日
事業用不動産	土地	m ²			千円		
	建物	m ²			千円		
	計	B (取得に要する資金)					千円
区分	名称	型式・能力	数量	単価	金額	発注先	設置(完成) 年月日
機械器具・什器備品等					千円		
	計	C (金額)					千円

5. 今回の資金計画に必要な資金合計

A + B + C =

千円 (D)

6. 資金調達計画

自己資金	預 金			預 金 以 外	
	預け先（金融機関本店支店等）	預金種別	金額	種類	金額
			千円	有価証券	千円
			千円		
			千円	その他（具体的に） （ ）	
			千円		
	自 己 資 金 合 計		千円		
借入金等 （※）	借 入 先	年利	借入額	毎月返済額	借入期間
	今回の借入金	%	千円	千円	・ ～ ・
			千円		・ ～ ・
			千円		・ ～ ・
			千円		・ ～ ・
	借 入 金 等 合 計		千円	調達資金合計	D 千円

(※) 今回の資金調達計画の中による借入金等をご記入ください。

7. 収支計画（今後1年間分）

支 出		収 入	
仕 入 高	千円	売 上 高	
外 注 工 費		工 賃 収 入	
人 件 費		雑 収 入	
その他費用			
利 益			
計		計	

8. 販売・仕入先

主な販売先 ・受注先	販売・受注 予定額	回収方法	主な仕入先 ・外注先	仕入・外注 予定額	支払方法
	年 千円			年 千円	

9. 借入金等状況（※）

借入先等	資金使途	借入残高	残存返済期間	年間返済額
		千円	ヶ月	千円
		千円	ヶ月	千円
		千円	ヶ月	千円
		千円	ヶ月	千円
		千円	ヶ月	千円

（※）現在負担している非事業性を含む借入金等で、今回の資金調達によるもの以外をご記入ください。
（経営者本人が負担している保証債務も含みます。）

10. 自己資金算定額

自己資金等	種 類	明 細			金 額
	普 通 預 金				千円
	定 期 性 預 金				
	有 価 証 券 等				
	入 居 保 証 金 等				
	設 備 充 当 等				
	合 計				①
借入金等	借入先	資金使途	残存返済期間	年間返済額	年間返済額の2年分 (2年以内のものは全額)
			ヶ月	千円	千円
	合 計				②
自 己 資 金 額 (① - ②) =					③

11. その他（計画に関する補足説明がありましたらご記入ください。）

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and extend across the width of the page. There is a solid black vertical line on the left side, creating a margin. The overall appearance is that of a standard notebook or legal pad.

